

3 本土一の超早場米とお田植踊りの継承

中間農業地域

1

おくだり 尾下地域活動組織（鹿児島県南さつま市） みなみ し

- 本地域は鹿児島県薩摩半島のほぼ中央部に位置する水田地帯で、東に標高636mの金峰山、西に日本三大砂丘の吹上浜が有り、四季を通じて温暖である。平成15年に完成した金峰ダムからの冷涼な水はパイプラインで直接、田に注がれ田植えが2月、稲刈りが7月に行われる九州一の超早場米金峰コシヒカリの産地である。また、裏作として秋から冬にはそばや大豆なども生産され農地の有効利用が図られている。
- 農地・水・環境保全向上対策(第1期対策)から農業者を中心に活動に取り組んでおり、構成員の有するトラクターモアなどを有効活用し保全管理に取り組んでいる。
- 稲作豊穰を祈願するお田植踊りを次世代に継承していくことで、農村文化の伝承を図っている。

【地区概要】

- ・取組面積：105.2ha（田 93.2ha, 畑 12.0ha）
- ・資源量：開水路14.1km
パイプライン12.4km
農道16.3km
ため池2箇所
- ・主な構成員：農業者、非農業者、自治会
土地改良区、子ども会、JA
- ・交付金：約739万円(R2)
農地維持支払 303万円
資源向上支払 180万円(共同)
資源向上支払 256万円(長寿命化)

活動開始前の状況や課題

- 過疎化、少子高齢化、担い手不足などにより、幹線水路や幹線農道以外の管理水準の低下が課題となっていた。
- 少子化によりお田植踊りの踊り子の減少が危惧されていた。



取組内容

- 平成18年の農地・水・農村環境保全向上活動支援事業のモデル事業
- 多面的機能支払交付金
 - ・農地維持支払は、主に農業者で実施しており毎年、「尾下の農業を語る会」を開催
 - ・資源向上支払は、共同活動の施設の軽微な補修や長寿命化は農業者と地域の建設会社などで実施
 - ・農村環境保全活動はコスモス植栽による景観形成を子ども会と共同で旧広域農道(現在は市道、旧南薩鉄道線路跡)に面した農用地にコスモス畑をつくり美しい農村の景観を形成した。
 - ・多面的機能の増進を図る活動は、農村文化の伝承を通じた農村コミュニティの強化としてお田植踊りを地域で一体となって実施



取組の効果

- 平成18年の農地・水・環境保全向上対策事業のモデル事業の取り組み以降、農業者を中心に地域で一体となった共同活動を展開し、地域農業や農村環境保全への理解が深まっている。
- 子ども会と共同で、コスモス畑の景観を形成することで、世代間の交流が図られるとともに美しい農村の景観は、行き交う人々を楽しませている。
- お田植踊りを、多面的機能の増進を図る活動に位置づけることで、農村文化伝承の気運が醸成され世代間の継承が図られている。

きっかけ

持続可能な地域資源の適切な保全管理が必要

Step1 (S56～H7)

圃場整備の実施

- 県営圃場整備事業により農地、農道、用排水、暗渠排水の整備が実施される。整備された施設は土地改良区を中心に各集落にて管理するが、過疎・高齢化が進行していく。

Step2 (～H18)

金峰ダムの完成

- 県営事業により金峰ダムがH15に完成し、尾下地区もH17から用水の供用が開始されるが、過疎・高齢化は一層進行していく。

Step3 (H18～)

共同活動の支援と意識の向上

- 地域資源の適切な保全管理に資するため、H18から農地・水・環境保全向上対策に地域内7集落にて取組開始。
交付金により地域共同活動への支援が可能となるとともに、地域資源の保全管理に対する意識が向上した。
- 地域と事務作業を熟知した書記を配置し、円滑な事務・運営を実施



将来に向けて

- 過疎・少子高齢化に歯止めをかける策は簡単にはないが、知恵を出し合って最新技術を取り入れるなどし、適切に保全管理に取り組み、担い手の下支えを行い、金峰コシヒカリ、そば、大豆を中心とする安心安全で良質な作物の安定した生産につなげていく。
- 農村文化の伝承を通じた農村コミュニティの強化(お田植踊り)に継続して取り組み明るい農村づくりを目指す。

今後の展望

Step5 (H29～)

新たな地域資源の保全管理方法の模索

- これまで労力面や安全面からも苦勞していた草払い作業場所に試験的に防草シートによるきめ細やかな雑草対策を実施

Step4 (H26～)

農村文化伝承の強化の取り組み

- 多面的機能支払交付金制度へと移行し、多面的機能の増進を図る活動にお田植踊りを位置づけることで伝承の強化を図った。

補足情報